

※生徒からのリクエストの多いライトノベルやマンガについては、別に選定基準を作成してもよい。

ライトノベル選定基準

1 基本方針

ライトノベルの明確な定義はないが、青少年を読者層に想定し、読みやすく書かれた娯楽小説のジャンルである。主に表紙や挿絵にイラストを使用し、出版社独自のレーベルから刊行されているものが多い。生徒の関心が高く、身近な分野でもあり、多くの利用が見込めることから、高校図書館の収集対象とする。

2 選定の基準

- (1) 社会的評価の定まっているもの(関連賞受賞作品・作家など)
- (2) メディア化(テレビ、映画、動画配信など)された作品
- (3) 生徒の要望が多く、他館からの借り受けが難しい作品

3 留意点

- (1) ライトノベルは多数巻で構成される作品が多いことを鑑み、リクエストには慎重に対応し、希望者間で不公平が起きないように配慮する。特定個人に利用が限られる資料、内容的に検討を要する資料等については、図書係全体で協議する。
- (2) 暴力的・性的描写が過激な資料等、学校図書館にふさわしくないとと思われる資料は収集しない。
- (3) 予算・蔵書構成のバランスに考慮して選定する。

マンガ選定基準

1 基本方針

マンガは国内外で「文化」として受け入れられている。生徒の関心が高く、身近な分野でもあり、多くの利用が見込めることから、高校図書館の収集対象とする。

2 選定の基準

- (1) 社会的評価の定まっているもの(関連賞受賞作品・作家など)
- (2) メディア化(テレビ、映画、動画配信など)された作品
- (3) 取り上げている主題が生徒の学習や進路選択に役立つもの
- (4) テーマが明確であり、マンガの表現法において文学性・芸術性、時代性を兼ね備えた作品

3 留意点

- (1) マンガは多数巻で構成される作品が多いことを鑑み、リクエストには慎重に対応し、希望者間で不公平が起きないように配慮する。特定個人に利用が限られる資料、内容的に検討を要する資料等については、図書係全体で協議する。
- (2) 暴力的・性的描写が過激な資料等、学校図書館にふさわしくないとと思われる資料は収集しない。
- (3) 予算・蔵書構成のバランスに考慮して選定する。